

飯伊地区 産業経済動向

No.530 2023/5
(5.6.25 発行)



IIDA SHINKIN BANK
飯田信用金庫
しんきん南信州地域研究所

<https://www.iidashinkin.co.jp/>
〒395-0044 飯田市本町1-2
TEL 0265-53-5811 FAX 0265-53-1132



Contents

表紙	写真：5月26日貫通 三遠南信道路青崩トンネルが穿つ熊伏山系と信州側坑口	・ P 1
	坑口写真 提供：国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所	
製造業	景況DIは前月からやや悪化。先行きについてはやや改善も厳しい状況が続く	・ P 2
建設業	5月の公共工事は前年比やや減少、4月の住宅着工戸数は前年比増加	・ P 4
商業・サービス業	景況感はやや好転。飲食業は好調も、宿泊業では一部に景況感悪化との声も	・ P 5
しんきんリニア・三遠南信対策室です	三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 豊橋駅～飯田駅(2)	・ P 6
特集	2023年4月の新卒者採用に関するアンケート調査結果	・ P 9
統計調査から	当地域の、近時の雇用関係統計	・ P 11
飯伊地区全産業景況DIの推移・主要経済指標		・ P 12

◆ 本誌内容は飯田信用金庫ホームページ（<https://www.iidashinkin.co.jp/>）に全文掲載しています ◆

本誌は、当金庫が信頼できると考えるデータに基づき作成されておりますが、データ、記述の正確性、完全性を保証するものではありません。御利用に当たってはご自身の判断によってください。

しんきんは環境にやさしい取り組みを地元のみならずともに行っています。



100%植物性インキ
[フナクリス100]を使用しました。

再生紙を
使用しています

地区内製造業の景況判断指数

概況 景況DIは前月からやや悪化。先行きについてはやや改善も厳しい状況が続く

当月の製造業の業況判断指数（DI）マイナス31.8で、前月から4.5ポイント低下。翌月予測はマイナス34.8で、前月から12.8ポイント上昇。製造業全体で、当月の景況感が好転した事業者はなかった。先行きの景況感については横ばいとの声が前月より増加したが、今後まだ厳しくなるとの声も依然として多い。雇用については不足との声が多い中、「外国人、実習生を採用予定」「若年層が採用できないため高齢者を採用した」との声も聞かれた。

主な業種の動き

●電気・精密・光学

- ☑受注、販売… 販売の前月比は業者により増減分かれ、前年比では減少の声がやや多い。受注の前月比は横ばい～増加、前年比では増加との声がやや多かった。
- ☑景況感…… 当月の景況感は概ね横ばいとの声が多く、先行きについても同様。悪化との声は前月より少なくなったが、好転したとの声は当月、先行きともに聞かれなかった。

[企業からのコメント]

- ・ 昨年は景況が少しずつ回復してきていたが、今年に入りFA事業は下降に転じてきている。その一方で車載事業や民間航空機事業は生産が回復傾向にある。
- ・ コロナが落ち着き、引き合いが多くなってきた。

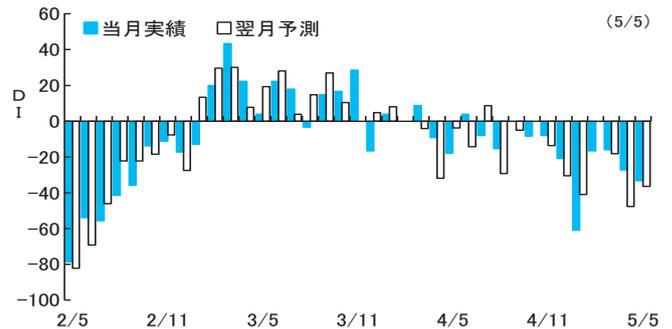
●半導体、液晶製造装置向け機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は減少～横ばい。受注は前月比横ばい～増加も、前年比では減少との声。
- ☑景況感…… 当月の景況感は悪化～横ばい。先行きについては、業者により見方が分かれた。

[企業からのコメント]

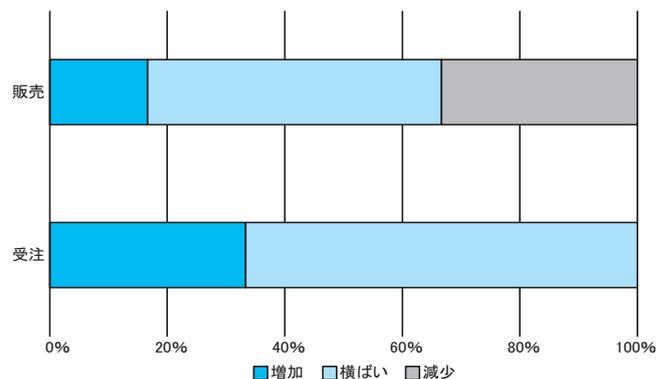
- ・ ゴールデンウィークの需要前倒しがあり4月は回復したが、その反動で5月は悪化傾向。6月以降は5月に比べると良いが、前年比ではマイナスの状況が続くと思われる。主取引先からは不定期でまとまった注文が入るようになったが、未だに回復の連絡はない。また、好調だった取引先においても、在庫調整局面を迎えている。
- ・ 半導体関連は、受注残、売上高ともにやや減少。製品単価はやや上昇。
- ・ 新規取引先の情報では、防衛関係が非常に上向いており、手が足りない状態とのこと。その煽りを受けて、先方で溢れた医療ロボットや防衛関係の仕事を受注した。
- ・ 半導体全般では、夏以降の回復が報道等で見受けられる。米中問題や中国の消費マインドなど地政学リスクがあるため、あくまで予想の域を脱しないが、必ず回復局面が訪れるため、その時に備える。また車の生産やiPhoneの売行きが回復する等、少しずつ景気が上向いている報道も目にする。ポジティブな情報を信じ、少しでも早い景気の回復を期待する。
- ・ 材料は高止まりという印象。上昇・下降の実感を伴うような傾向は感じない。

飯伊地区景況DI（製造業）

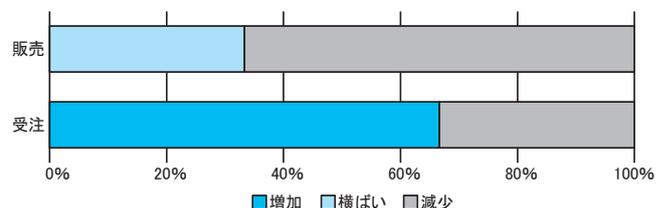


【DI (ディフュージョン・インデックス)】とは…
 景況に関する投票を指数化したもので、全体の回答数を分母、良い、やや良いとの回答数を分子にした割合から、全体の回答数を分母、悪い、やや悪いとした回答数を分子にした割合を引いた数値。
 「先月と比べて景況が良い」との回答が多ければプラス、「先月と比べて景況が悪い」との回答が多ければマイナスとなる。

電気・精密・光学向け部品前月比回答割合



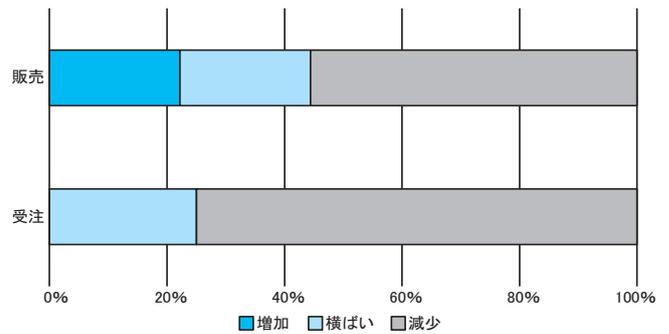
半導体、液晶製造装置向け部品前月比回答割合



●産業機器、医療機器向け等機械部品

- ☑受注、販売… 販売の前月比は一部に増加との声もあるが、減少との声が多い。受注は前月比減少～横ばい。先行きについても減少を見込むとの声が多い。
- ☑景況感…… 景況感が悪化したとの声は半数超の事業者から聞かれた。先行きについては横ばいとの声もあるが、悪化を見込む声が多い。

産業機器、医療機器向け部品前月比回答割合



[企業からのコメント]

- ・「取引先全業種において、秋頃に向けてまだ下がる見込み。交流する中では、景気の良いところはなさそう」「5月に入って、全般的に動きが悪い。大口の案件が特に減少」「大型連休の影響で売上が大幅にダウン。6月に期待」「中国経済の停滞が影響しているのか、新しい増産の話は一切なし。静かにじっと我慢する時期」「材料屋はじめ、全般的に動きが悪い。取引先の動向も、今は一息との声」
- ・「原材料価格は特に動きなし」「材料価格はわずかながら下降気味」「電気料金が大幅にアップ」
- ・「製造経費上昇分を上乗せして、製品単価を修正」「製品単価は変わらず。未だに昔の単価要求をする取引先もある」
- ・稼働率がダウンとの声も多い。先行き不安との声も聞かれる。

●漬物、半生菓子、菓子原料等

- ☑売 上… 漬物は前月比、前年比ともやや減少。菓子は前月比横ばい～やや増加。景況感については、大きな変化はないとの声が多い。

[企業からのコメント]

- ・食品全般的な値上げもあり、買い上げ点数は減少。選別消費が進んでいると感じている。また観光需要は4月に前倒しされた分、5月は減少したと思われる。
- ・卵不足は高騰による需要減もあって、高値であれば供給してくれるようになった。
- ・天候不順により野菜原料の数量が不足気味だったが、消費が芳しくないこともあり乗り切ることができた。

●水引製品、冠婚葬祭・祝儀用品、正月・盆用品

- ☑売 上 … 前月比はやや減少、次月以降も減少を見込むとの声。

[企業からのコメント]

- ・婚儀儀式は未だ兆しが見えないが、葬儀・法事がやや始まった感がある。引き続き行事が挙行されていくことを願う。
- ・マスクの規制が撤廃されたが、まだ儀式は様子見。各社、正月飾りに重点を置いている感がある。

●上記以外の製造業

- ☑食品製造 …………… 販売は、前月比、前年比ともやや増加。原材料価格は前月比、前年比とも上昇という。
- ☑建築用金属製品 … 販売は、前月比やや減少、前年比では増加。景況感は横ばいという。
- ☑自動車向け部品 … 販売は、前月比横ばい、前年比では増加。景況感は横ばいとの声。
- ☑印 刷 …………… 販売は、前月比では減少、前年比では増加。原材料価格が上昇との声。
- ☑服 飾 …………… 販売は前月比では減少、前年比では増加。景況感はやや悪化との声。

[企業からのコメント]

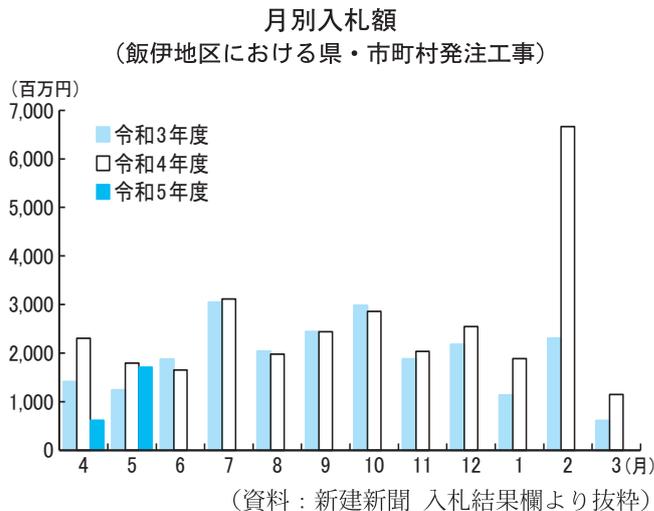
- ・原材料高が進んでいる一方で価格転嫁は思うように進んでおらず、厳しい状況が続いている。
- ・建築の大型物件はちょうど端境期で受注が少し低調。いつから忙しくなるか明確でないが、来年以降は仕事量が多い予定。
- ・イベント関連の復活の話が出てきている。花火の寄附のお願いも増え始め、関連する仕事の受注への期待が高まる。
- ・インバウンドの影響で衣料の消費が動いてきた感じ。高額商品も売れ出し、これからが楽しみであるが、作り手側のワーカー不足で生産量は増えない。外注も一杯で、仕事をお願いできずにいる。
- ・「各封筒メーカーより、7月から再び値上げの話が来ている。取引先に理解してもらえるかどうか心配」「前月比、前年比ともに依然として原材料の上昇が続いている」

建設業

官公需

概況 5月の公共工事入札金額は前年比で5.1%減少、一昨年比では37.5%の増加

- ☑公共工事入札額… 当地区における当月の県、市町村発注工事の入札額合計は、約17.1億円（6月15日調査時点）。前年に比べ5.1%減少、2年前との比較では37.5%増加。
- ☑受注残高…………… 前月比は減少～横ばい、前年比では業者により増減分かれる。景況感、概ね横ばいとの声が多い。先行きは、一部にやや好転を見込むとの声も。
- ☑原材料価格…………… 前月比では横ばい～やや上昇。当月、先行きとともに横ばいとの声が多い。



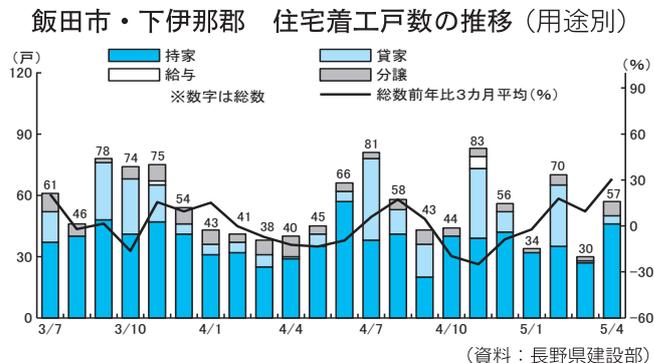
[企業からのコメント]

- ・飯田下伊那地域は他地域よりも仕事量はあると思うが、災害工事が終了したのと、防衛費や子育て支援等の財源確保のためなのか、例年に比べて忙しくない。当社も例年に比べて仕事が薄く、入札しても競争が激しい。
- ・公共工事の発注が4～5月は低調。早期の発注が望まれる。国土強靱化加速化計画も最終年となり、継続的な中長期にわたる公共投資を望みたい。
- ・工事を受注しても直ぐに着工できないためか、労務にゆとりがある。

民需

概況 令和5年4月の住宅着工戸数は57戸で前年比43%増。持家の増加が寄与し、前年比プラスに

- ☑住宅着工戸数… 当地区の4月の住宅着工戸数は57戸。前月比90%増、前年比でも43%増。持家の戸数は46件と、前年（29件）から大きく増加した。貸家は4件で、こちらも前年（1件）から増加。2か月ぶりに前年比プラスとなった。
- ☑原材料価格…………… 前月比では概ね横ばいとの回答が増えており、先行きについても大きな変化はないとの声が多い。



[企業からのコメント]

- ・一般工事は小さい物件しかない。リフォームはポツポツ、新築住宅は受注が下降してきて先行きが明るくない。ただ、どれかが減れば他の工事が増えたりして、何とか仕事はつながっている。
- ・受注残高は前月比、前年比ともに減少。景気もやや悪くなったように感じる。
- ・大きい物件は地域外の業者が多い。住宅も、強い大手や格安住宅が多くなってきた。住宅新築は2022年度は前年度より少し減少した。年間500軒しかない新築は、近い将来には今の7割になるようだ。

建設資材等

概況 5月の生コン売上は業者により増減分かれる。骨材売上は減少

- ☑生コン … 売上は前月比、前年比とも業者により増減分かれる。一部に景況感が悪化したとの声も。
- ☑骨材 … 売上は前月比、前年比とも減少。次月以降は横ばい～増加の見込みという。

[企業からのコメント]

- ・当月の生コンの主な出荷は、三遠南信工事、リニア関連工事、工場・倉庫建設、堰堤工事、治山・砂防工事に関わるものだった。リニア関連工事の出荷量は、当月出荷量全体の3%弱。
- ・5月は連休もあって生コンの出荷が少なかった。今年度の仕事もまだ本格的に始まっておらず、暇な日が多い。
- ・建設会社全体で手持ち工事が少ないとの声が多く、そのあおりを受けている。リニア関連も、一部を除き全体的に資材購入が少ない。

商業・サービス業

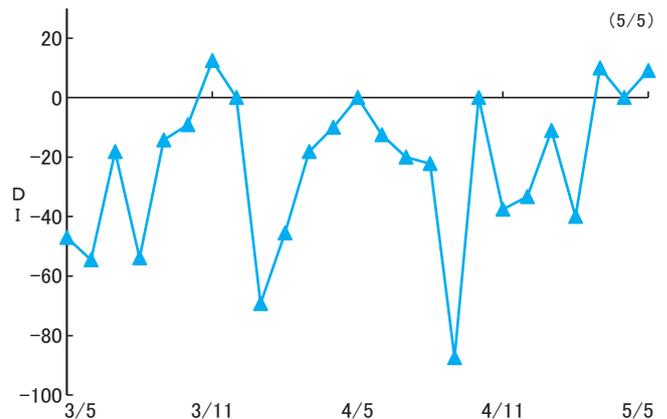
概況 景況感はやや好転。飲食業は好調も、宿泊業では一部に景況感悪化との声も

当月の商業・サービス業の業況判断指数（D I）は、プラス9.1で、前月から9.1ポイント上昇。

ゴールデンウィークを迎え、コロナが5類変更となったことで、飲食業では前年比売上増加の声が多く聞かれた。一方、回復傾向にあった宿泊業では一部に前年比で売上が減少したとの声もあり、コロナからの回復一辺倒という雰囲気は薄れてきた印象を受ける。

物価高による影響を指摘する事業者は多く、売上は回復しても利益はコロナ前より減少したとの声のほか、物価高による消費動向の悪化が売上に影響しているのでは、との声も聞かれた。

商業・サービスD I



主な業種の動き

●小売業 概況 売上の前月比はやや減少。前年比では増加

☑売上 … 前月比ではやや減少、前年比では増加。景況感はやや悪化との声。

[企業からのコメント]

- ・ガソリン代や電気代、食品等の物価上昇による買い控えがあり、売上が減少。
- ・仕入業者やメーカーの廃業あり、商品確保に苦労。仕入価格も都度値上げされるものもあり、見通し不明。

●卸売業 概況 売上は前月比、前年比ともに業者により増減分かれる

☑売上 … 青果卸の売上は前月比でやや増加、電設資材は前月比、前年比とも増加との声。

[企業からのコメント]

- ・野菜は、昨年高値の玉ねぎは平常の価格に戻り大幅安。大根、キャベツのほか、主力の胡瓜も安かった。昨年安値の人参、ごぼう、ほうれん草は3～4割高と、対照的な価格となった。野菜全体では前年比で入荷量増、価格安であった。果実は、円安で輸入果実は1～2割高で入荷量減、終盤を迎えた売上1位の苺は順調な入荷で価格も良かった。国産柑橘も順調に販売され、果実全体では入荷やや増、価格やや高であった。
- ・コロナ禍で開催できなかった自社イベントを数年ぶりに開催でき、集客に不安はあったが例年並みの数字を取れた。今後は梅雨明け後の季節商品の引き合いが待ち遠しい。また、各企業の設備投資の動きが以前より少なく、受注に繋がれるかが課題。
- ・仕入面では商品の供給も比較的安定し、長期納期や欠品は少なくなったようだ。ただ、今後は物流業界の時間外労働上限施行により「運賃上昇」「物流の遅延」等、様々な影響が懸念されている。物流問題は非常に関心を持って注視している。

●飲食・宿泊・運輸業 概況 飲食業は景況感好転との声。宿泊業では売上の増減が分かれ、景況感の判断も分かれた

☑売上 … 飲食業では前年比増加との声が多い。宿泊業では業者により増減分かれ、ゴールデンウィーク以降の売上が悪かったとの声も聞かれた。

[企業からのコメント]

- ・5月はコロナが5類に移行されたことを受け、ゴールデンウィークを中心に売上が伸びた。各種総会をはじめ、慶事（家族単位のもの）、法事（人数的に大きいもの）も少しずつ回復。ただ仕入単価も上昇しているため、コロナ以前に比べると利益率は低く、その差はかなり大きいと感じている。
- ・景気は良くなってきたと思うが、物価上昇が消費を抑えている。マスクもなくなれば、また雰囲気は変わってくる。
- ・「ゴールデンウィークの動きは、昨年までのコロナ禍と比べて早い時期から予約が入ってきた。しかし渋滞や移動の負担を減らすため、早めに帰る人も多くなり、最終日2日前（5月6日）の予約は土曜日にも関わらず伸び悩んだ」「宿泊予約がいつもより悪い。コロナが明け、全国旅行支援が始まった当初は良かったが、長くは続かず」「ゴールデンウィーク以降、急に入込が悪くなった。全国旅行支援の割引利用のお客も以前よりは減少。6月の予約状況も悪く、物価の値上がりによる個人の動きが悪くなったことが大きいと感じている」
- ・労働条件の見直しにより、ホテルの年間の休日（設備メンテナンス）を設定して、休日の確保をしていく。
- ・コロナの5類移行により、タクシーの夜の需要は微増傾向であるが、平日の夜は厳しい状況。個人の動きは増加したが、団体等の需要は依然として厳しいものがある。

三遠南信地域交流たずねある記 (11)

三遠南信地域 路線バス乗り継ぎの旅 (7)
豊橋駅から飯田駅へ (2)

～北設地域を通り愛知長野県境を目指す～

三遠南信地域路線バス乗り継ぎの旅は、設楽町田口から東栄町、豊根村を通り愛知・長野県境へ。テレ東番組と同様、バス路線が途切れる県境越え・峠越えの徒歩区間が待ち受ける。

■設楽ダムおよび関連事業の現状

設楽町において現在最大のエポックと言えは設楽ダムであろう。設楽ダムは設楽町内の豊川に設置する洪水調節、渇水時の流量確保、工業・農業用水供給のための多目的ダム。洪水調節機能といえは、今月の豪雨により豊川流域で大規模氾濫が起きたことは記憶に新しい。

昭和48年、愛知県が設楽町に設楽ダム調査の申し入れを行ったのを嚆矢として、

- ・平成2年 「豊川水系における水資源開発基本計画」閣議決定
- ・平成13年 豊川水系河川整備計画を策定
- ・平成15年 「設楽ダム建設事業の推進に関する協定書」を設楽町長と中部地方整備局長が締結
- ・平成19年 環境影響評価書の公告縦覧
- ・平成21年 設楽町がダム建設の同意を表明

同年 国、県、設楽町がダム建設同意の協定書調印
など進んできた。(中部地方整備局設楽ダム工事事務所HP)

他方で令和4年度、「働き方改革」で時間外労働を前提とした計画見直しや週休2日制とした再評価の結果、工期が37カ月延長、事業費も増大することが判明し話題となった。

工事面では、ダム本体建設のため本流を付け替える「転流工」が完成し、本年2月に転流式が執行され、ダム本体基礎掘削工事へと進んでいる(中部地方整備局HP)。

町内を巡ると目立つのは、ダム湛水により水没する国道・県道の付替え工事。豊川本流あるいはダムサイト付近は立ち入れないため、愛知県道10号設楽根羽線(長野県道も10号線)沿いを見ると(豊川支流の境川)、この流域でも水没する範囲は広く、県道10号の両側で道路付替え工事が行われる。建てられた橋脚は遥か高く、そこまで水が漬くのかと実感する。大規模工事に伴う移転家屋は124世帯(移転100%実施)(同HP)、移転される方々の心情を思うが、同時に設楽ダム建設を地域振興の起爆剤としたい地域の期待も窺える。



東栄町中心部



写真① 付替県道10号橋脚

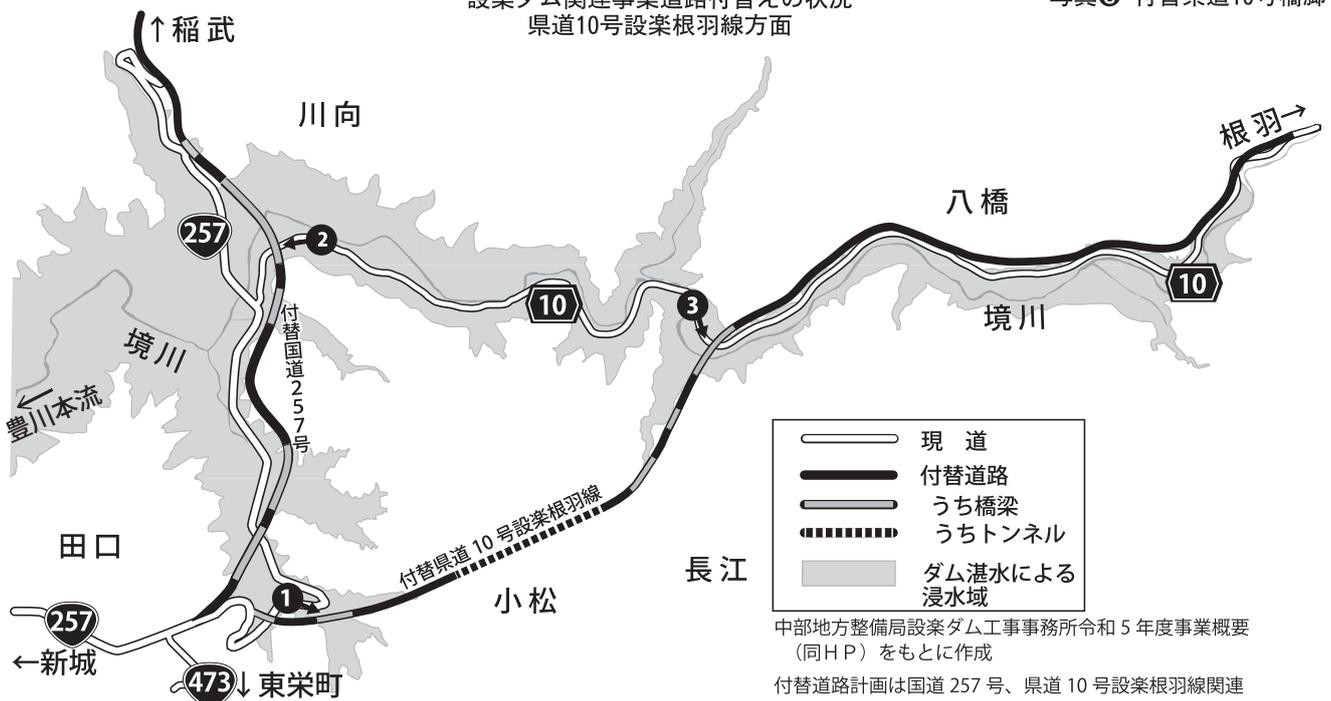


写真② 付替国道257号橋脚



写真③ 付替県道10号橋脚

設楽ダム関連事業道路付替えの状況
県道10号設楽根羽線方面



■国道151号へと東栄町を目指す

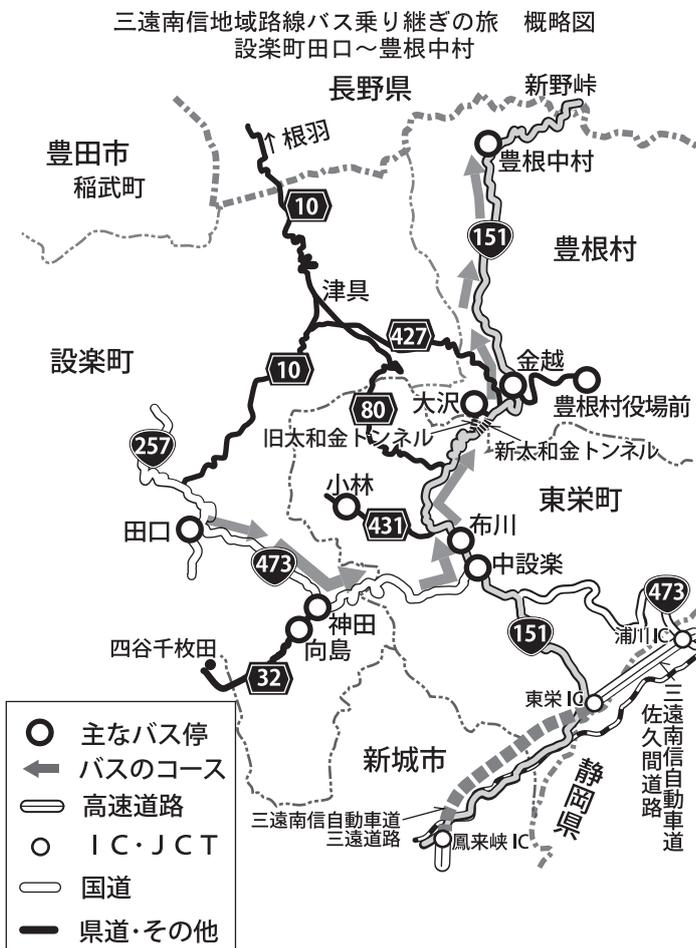
設楽町の「コミュニティプラザしたら」にある田口停留所からコミュニティバスに乗る。ここから先のコミュニティバスは、設楽町、東栄町、豊根村が「おでかけ北設」の統一ネーミングで運行している。

出発して田口市街地を貫く国道257号(473号と重複)から単独国道473号に入る。国道473号は、東栄町へ向かいその先で三遠南信自動車道に浦川ICで接続。更に佐久間町を通過して水窪方面から来た国道152号(秋葉街道)と合流し、重複区間となって浜松中心部へ向かうが、同市天竜区山東で方向を転じ(362号と重複)川根本町へ、そこから単独473号となって島田市などを通り牧之原市まで行っていることが判る。

国道473号の神田でバスは県道32号に入り向嶋へ向かうため、神田で降りて次のバスを待つ。この県道32号をそのまま行って峠を越えると新城市(旧鳳来町)になるのだが、そこに日本棚田百選に選定された四谷千枚田がある。畔の石垣が重厚な棚田風景が展開する。

神田を過ぎると、道が狭く避け合いが厳しい部分がある。東栄町に入ると平らな地形が見えるようになる。国道151号に出ると中設楽の交差点とバス停。中設楽は国道151号を豊橋方面に向かう際に立ち寄るコンビニのところと判った。

次のバスまで3時間弱あるため、東栄町役場へ移動し、公共交通の担当者からお話を伺った。「『おでかけ北設』は3町村公営バスで運行しており、各町村の中心部から町村内各所を結ぶとともに、相互に他町村に乗り入れ、帰りの乗客を拾うことと、北設地域内のバスシステムの一体化を図っている」とのことであった。



おでかけ北設 東栄設楽線
田口～神田 300円



日本棚田百選 四谷千枚田



神田バス停とおでかけ北設 東栄設楽線
神田～中設楽 100円



東栄町中設楽 バス停は店舗の反対側にある



東栄町役場

■東栄町・豊根村を縦断、国道151号を北上

中設楽バス停に漸く16時22分発のバスがやってきた。バスには下校する小学生十数人が乗っている。ローカルバスでは、乗客は私一人、の場面が多いが、子どもの声でバス内は明るい雰囲気。先のバス停で三々五々降車していく。

この頃になると、おでかけ北設運転手の情報網で路線バスを乗り継いでいる旅行者がいると知れ渡り、乗り込むと歓迎してくれて次の乗換停留所などを教えてくれる。

国道151号に出て少し走ったところで、バスは151号から県道431号へと逸れていくので、**布川**バス停で乗り換えなければならない。布川バス停は中設楽から151号を長野方面に行ったところのドライブインであった。既に**豊根役場**前行きのバスが待っている。

布川から先、東栄町・豊根村境が**太和金トンネル**になる。旧トンネルは避け合いができない程狭いトンネルだったが、2016(平成28)年に新太和金トンネル(685m)となった。トンネルを抜けるとバスは左折して**大沢**まで行き、引き返して151号に戻る。よく見ると**大沢**は旧トンネル出口の集落で、新トンネル開通後もこちらへ回る。バスはその先で豊根村役場方面へ行ってしまったため151号沿いの**金越**で降り、乗り換える。**金越**は、国道151号を豊橋方面に行くと「豊根村役場」の道路表示が見られる分岐点のところだった。**豊根中村**行きバスまで約50分待つ。

次に来たバスは**豊根村役場前発豊根中村**行き30人乗り位の大きいバス。中には下校する豊根中学の生徒が20人近く乗っている。バスは**坂宇場川**に沿った各集落の停留所へ寄り、生徒が段々と降りて行く。停留所には迎えの家族が見られる。「ほんとに歩いて新野まで行くの？」と運転手に心配される。

■いよいよ徒歩で新野峠越えに

豊根中村は、国道151号新野峠を下ると最初に現れる集落だった。最後まで乗っていた中学生とともに降車。到着時は日没後最後の薄明かりだったが、峠越えの支度をしている間に真っ暗となる。事故防止のヘッドランプと蛍光たすきを身に着け歩き出す。暫く歩くと歩道が無くなってしまいが、路側帯の幅が十分に広く、横を車が通過しても危険は感じない。

峠までの国道151号は旧道の**九十九折**のコーナーを直線的に結んだ線形のため、靴底に感じる勾配はかなりあり、駆け足とはいかず速足で、通行車両が少なく静寂に包まれ、満天の星の下を進んでいく。「次のコーナーを回ると峠下の最後の直線」との期待を何度も裏切られながら歩く。

暫くすると足裏に感じる勾配がスッと軽くなる。やがて平坦になり、今度は下り勾配を感じる。峠を越えた。県境を示す道路表示が現れた。阿南町に入ったのだ。時計をみると**豊根中村**から新野峠まで約50分だった。

峠から先は国道151号改良が相当進んでいて本舗装こそまだであったが、新野中心部まで線形が整えられていた。下り坂で自然と駆け足になり新野の街まで駆け下った。見覚えのある道の駅信州新野千石平のモニュメントが現れる。新野中心部へ到着した。新野峠から約35分だった。

今夜は新野に泊りとなる。

■おわりに

北設地域の路線バスを運行されている全ての関係者に感謝したい。この地域の路線バスが繋がっていないければ、そもそもこの南信州→遠州→東三河→南信州と巡る企画は成り立たなかった。これらバス路線がいつまでも続くことを願う。

(注) おでかけ北設の基幹バスには、他に津具線(田口～上津具)を豊鉄バス、田口新城線(新城市民病院～田口)を豊鉄バスが担っている。

(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)



中設楽バス停とおでかけ北設
豊根東栄線 中設楽～布川 100円



布川バス停とおでかけ北設
豊根東栄線 布川～金越 300円



金越バス停とおでかけ北設
坂宇場線 金越～豊根中村 200円



新野峠(県境表示)

2023年4月の新卒者採用に関するアンケート調査結果

しんきん南信州地域研究所では、当地域の事業者様の本年4月における高校、大学、専門学校等の新卒者の採用に関する意識や、来年の新卒者採用、今後の中途採用に関するアンケートを実施しました。この中では、人材確保のための職場環境改善に向けた取組についても伺っています。今回はその結果をご紹介しますとともに、ハローワーク飯田よりお寄せいただいたコメントを掲載しました。

ご多忙の中ご回答いただいた皆様や、コメントを寄せていただいたハローワーク飯田の岩松所長様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

1. アンケート調査結果

I アンケート概要：

- ・飯田下伊那地域の企業を調査対象として、郵送・メール・インターネットによる回答を集計。
- ・回答総数 61（製造業22、建設業14、卸・小売、飲食、宿泊業、運輸業を含む商業・サービス業25）
- ・調査期間 2023年6月1日～6月20日

II アンケートの結果：

●今年度新卒者の採用に関する認識

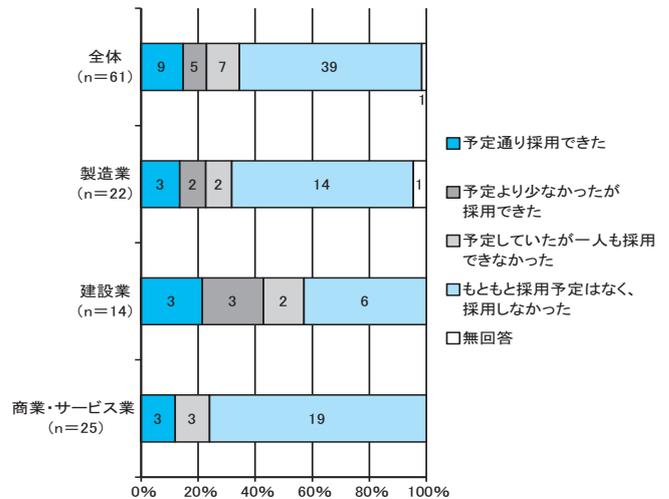
今年度の高校・大学・専門学校等の新卒者の採用について、「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」、「もともと採用予定はなく、採用しなかった」の内から一つ選択してもらった。

この中で、採用予定のなかった事業者は、全体では39者、64%となっており、2022年4月の同調査（67%）とほぼ同じ水準となった。約3年続いたコロナ禍については、現在正常化に向けた動きが進んでいるが、新卒採用においては、前年度から大きな変化はみられなかった。

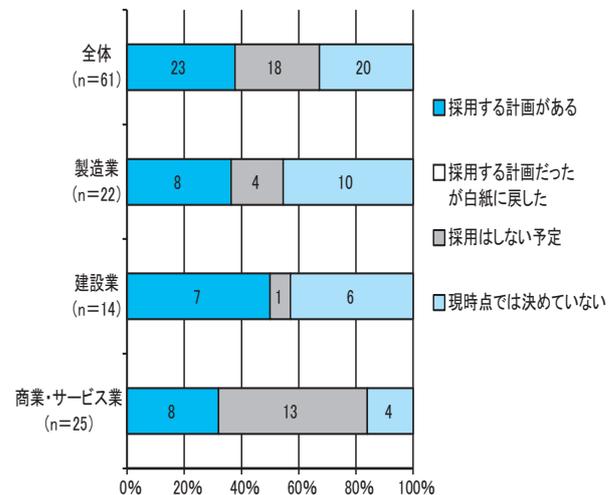
業種別に「予定通り採用できた」「予定より少なかったが、採用できた」「予定していたが、一人も採用できなかった」など新卒者の採用に積極的だった回答割合を見ると、建設業が57%と最も高く、製造業が32%、商業・サービス業では24%となった。建設業は前年度（63%）に続き、全業種中で最も新卒者の採用意欲が高かった。

今年度の新卒者の採用予定があった21者中、「予定通り採用できた」とする事業者は全体で9者、43%となり、前年度（21%）から増加した。「予定より少なかったが、採用できた」（5者、24%）は前年度（57%）から減少、「予定していたが、一人も採用できなかった」（7者、33%）は前年度（21%）から増加した。約6割の事業者は予定通りの採用ができておらず、当地域の厳しい採用動向が様子が垣間見える結果となった。

今年（2023年4月）の、高卒・大学新卒者は、予定通り採用できましたか？



来年、高卒・大卒の採用予定はありますか？



本調査では、来年の新卒者の採用についても、「採用する計画がある」「採用する計画だったが、白紙に戻した」「採用はしない予定」「現時点では決めていない」の内から一つ選択してもらっている。

この中で、「採用する計画がある」とする業者は23者、38%（前年度40%）となっている。建設業で採用計画がある事業者は7者、50%に上り、こちらも建設業の新卒者の採用意欲が高い様子が窺える。事業者からは、「建設業だが、工学部等専門分野を出てなくても、普通科や文系でも構わないので、とにかく新卒者が欲しい」（建設業）、「飯田下伊那以外の地域からの応募者を募っている。地元採用は直ぐ辞めてしまう」（製造業）といったコメントが寄せられた。また、共同受注グループ「ネスクーイイダ」では、今春から会員企業による「オープン・カンパニー」（企業訪問の受け入れ）を、当地域の高校生向けに試行的に始めたとの話も聞かれた。

● 中途採用、外国人採用

また、本調査では、中途採用や外国人採用について、今後半年程度の予定も聞いている。

この中で、「従来どおりの人数を募集し続ける予定」「予定より減らして募集し続ける予定」との積極的な回答は、全体で52%（前年度46%）となった。建設業では71%（前年度38%）と大幅に増加した一方、製造業は55%（前年度55%）、商業・サービス業は40%（前年度36%）と大きな変化はなかった。事業者からは、「通年で募集しており、良い方がいれば採用という方針で行っている。現時点では退職者もあるため早急に数名補充したいと考えている」（製造業）、「技能実習生の募集はもう限界が来ている。特定技能制度で枠を広げて頂かないと難しい。外国人の質も落ちてきているため、本当に働きたい人の募集を継続して続けたい」（製造業）、「現在ネパール人3名就労。新たにベトナム人2名が6月より入社。やや問題となるところは言葉や、習慣・考え方の違い」（宿泊業）といったコメントが寄せられた。

● 人材確保のための職場環境改善について

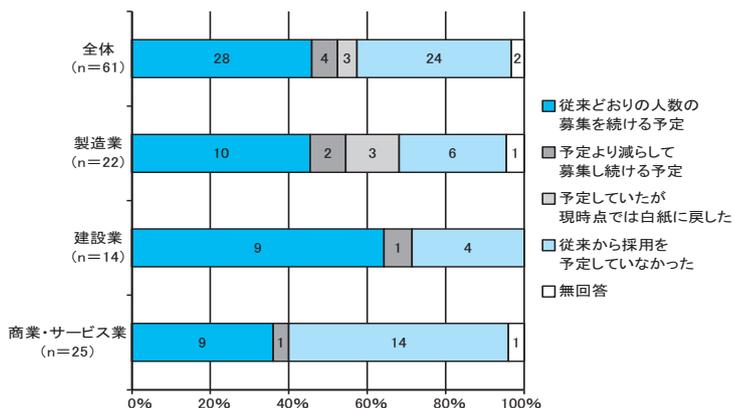
本調査では、人材確保のための職場環境改善に向けて実施している項目についても複数回答で聞いている。

最も回答が多かったのは「賃上げ等、待遇面の改善」（47者）、次いで「長時間労働の是正等」（23者）、「人事管理（評価、処遇）の適正化」（19者）、「子育て、介護との両立」（18者）、「女性が活躍しやすい環境整備」（17者）の順となった。「賃上げ等、待遇面の改善」については77%の事業者が実施しており、採用予定の有無に関わらず実施されていることが窺える。事業者からは「若い社員が取れないため今月から高齢者を採用。大手の人材補充の目途が付けばある程度中小企業にも回ってくると判断し、1～2年程度の契約を考えている」（製造業）、「高齢者でも年齢に関係なく募集していきたい」（製造業）との声が寄せられた。

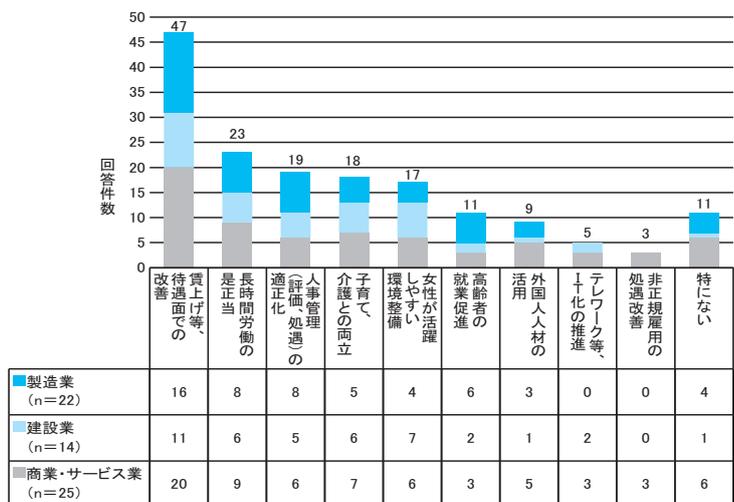
● 結びに代えて：『採用動向アンケート』調査結果について」（ハローワーク飯田・岩松所長）

少子高齢化や人口減少が進んでいる中、新卒者のうち、飯田・下伊那の高校卒業生数は、2017年（平成29年）3月の1,575人が、2023年（令和5年）3月には1,380人と、6年で約200人（12.4%）減少しています。また、進学率は約7割とかなり高く、一度県外等に出た若者に、いかに地元に戻ってもらえるかが、地域の活性化や労働力の確保といった面からも大変重要です。

外国人採用、中途採用について、今後概ね半年の予定を教えてください



人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか？（複数回答）



ハローワーク飯田で2022年（令和4年）度に受理した今春高卒者対象求人数735人に対し、就職者は約300人であり、求人倍率は前年度の1.93倍を超える2.39倍となりました。ここ数年で一番高く、半分を超える求人が採用に至らないという採用難の状況であり、また、就職者の地元就職率は約75%で、25%は管外（飯田・下伊那以外）となっています。

本年度も、来春高卒者対象求人を6月から受け付けていますが、求人数はほぼ前年並みに推移しており、本年度も前年度同様、採用難の状況が続くと予想されることです。

一方、全国の新卒（2021年3月卒業）就職者の3年以内の離職率をみると、大卒31.5%、短大等卒41.9%、高卒35.9%、中卒57.8%となっており、採用後3年以内に3割以上が離職しています。人材確保のほかに、就職者の定着率を上げることも重要な要素であると思います。

最近、「従業員の年齢構成にばらつき（ある年齢層が少ない）があり、管理職等に昇格・昇任の際に苦慮している」という話を頻繁にお聞きします。定年等の退職者の影響により、短期間で年齢構成修正は難しいと思います。また、景況により新卒者の採用を控えることもあろうかと思いますが、後々のことを考え、景況が芳しくない時期においても継続的に新卒人材を確保し続けることもひとつの方策であり、かつ、学校や学生・生徒からの企業信頼度アップに繋がると思います。

学生・生徒側の売り手市場の中、希望選択してもらうために、「魅力ある企業」となることが重要です。賃金・休日など労働条件・待遇面、福利厚生、働きやすさ、職場の雰囲気、業務効率化などの働き方改革の推進など、様々な要素があると思いますが、仮に自身が就職活動をするを仮定して、改めて各企業内で検討・再考する機会を設けることをお勧めしたいと思います。

最後に、企業の皆様におかれましては、今後の益々の発展をご祈念申し上げます。

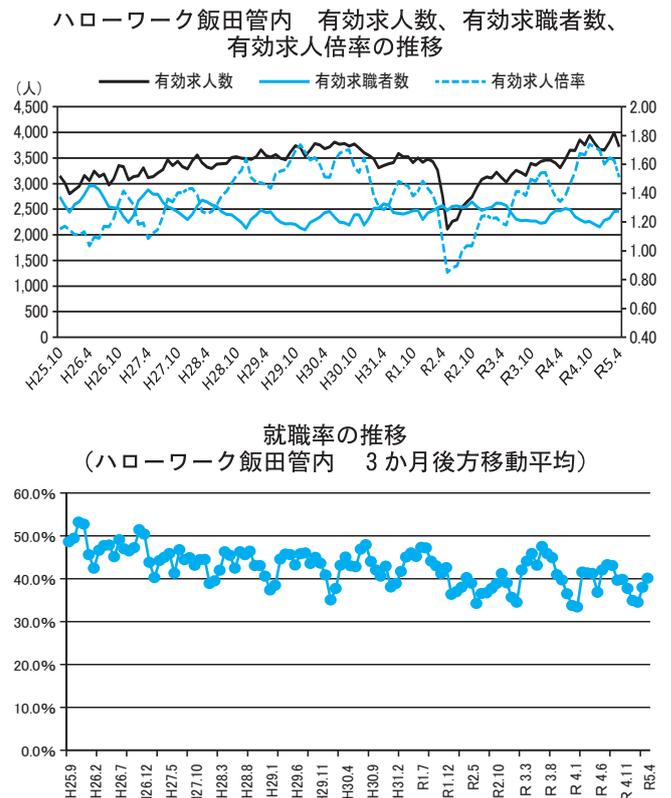
統計調査から

当地域の、近時の雇用関係統計

引き続き、近時の当地域の雇用関連統計をご紹介します。

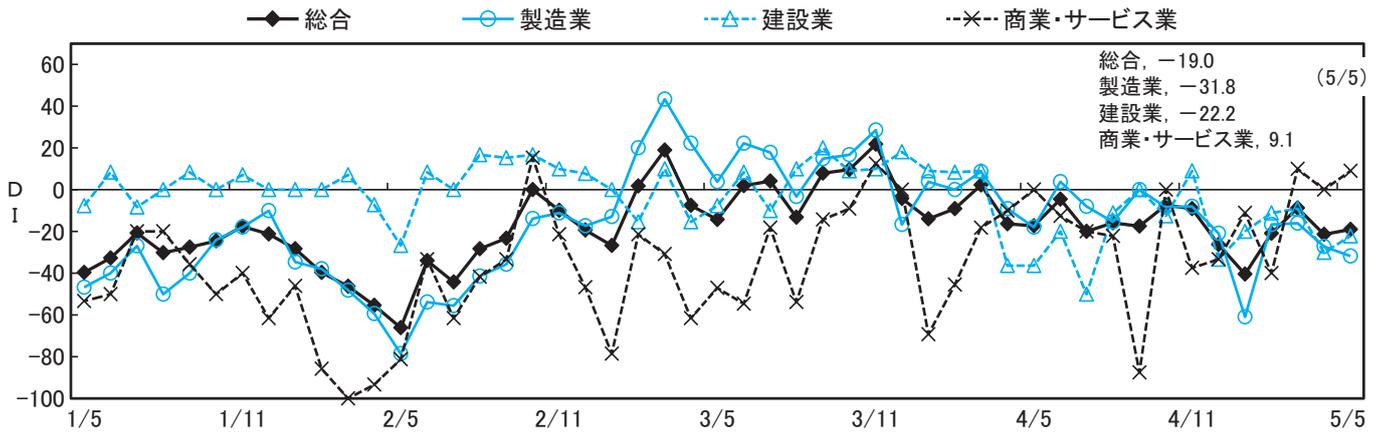
右は当地域の有効求人倍率の推移を見たものだが、当地域の有効求人倍率は、平成25年半ばから、コロナ禍の一時期を除き、1倍を上回って推移している。先に、令和4年度の新卒者の求人倍率が2.39倍と、半分を超える求人が採用に至らないという採用難の状況であることが紹介されたが、新卒者に限らず、採用が難しい状況が続いていると思われる。

また、就職率（新規求職者数に対する就職件数の割合）の推移をみると、趨勢的には僅かずつ低下しているように見受けられ、雇用のミスマッチが発生しているように思われる。その要因は様々あろうが、雇用者の働きやすい環境を整えることも、対策の一つとなり得るのかもしれない。



飯伊地区全産業景況DIの推移

飯伊地区景況DI (本誌調査)



飯伊地区主要経済指標

主要指標		実数	前月比	前年同月比	前々年同月比	令和元年同月比
倒産件数 (負債総額1千万円以上)	県内	6件	(前月 4件)	(前年同月 9件)	(前々年同月 4件)	(令和元年同月 4件)
	飯伊	0件	(前月 0件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 1件)	(令和元年同月 0件)
住宅着工戸数 (飯田市、下伊那郡 総数) (4月)		57戸	90.0 %	42.5 %	23.9 %	11.8 %
有効求人倍率 (パートを含む実数) (ハローワーク飯田管内) (4月)		1.51倍	(前月 1.63倍)	(前年同月 1.34倍)	(前々年同月 1.19倍)	(令和元年同月 1.29倍)
自動車新規登録台数 (松本事務所管内)	新車	1,852台	△ 4.6 %	34.9 %	17.1 %	△ 17.2 %
	中古車	666台	△ 8.8 %	△ 0.9 %	2.8 %	△ 4.4 %
軽自動車新規登録台数 (全国軽自動車協会連合会) (4月)	新車	3,630台	△ 33.4 %	8.3 %	△ 0.1 %	△ 4.2 %
	中古車	1,775台	57.9 %	△ 0.5 %	△ 9.6 %	3.0 %
中央道利用台数 (飯田インター分)	入	98,452台	4.6 %	3.6 %	26.9 %	△ 16.4 %
	出	100,141台	5.9 %	5.1 %	28.7 %	△ 15.3 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	57,820台	1.5 %	2.1 %	21.6 %	△ 27.5 %
	出	54,581台	4.4 %	2.0 %	18.3 %	△ 27.3 %
中央道利用台数 (園原インター分)	入	14,741台	△ 39.2 %	△ 15.1 %	3.8 %	△ 41.5 %
	出	15,199台	△ 50.3 %	△ 13.1 %	7.0 %	△ 44.6 %
中央道利用台数 (飯田山本インター分)	入	48,889台	△ 0.8 %	6.4 %	43.3 %	2.5 %
	出	49,382台	△ 4.3 %	5.9 %	47.0 %	7.2 %
中央道利用台数 (座光寺スマートインター分)	入	39,583台	6.0 %	13.6 %	- %	- %
	出	37,692台	5.6 %	10.6 %	- %	- %
信用保証協会 新規保証件数 (飯田支店管内)		121件	△ 3.2 %	14.2 %	44.0 %	△ 16.0 %
信用保証協会 代位弁済件数 (飯田支店管内)		10件	(前月 4件)	(前年同月 0件)	(前々年同月 0件)	(令和元年同月 4件)
高速バス乗車人数	飯田～新宿	21,773人	21.8 %	52.6 %	328.2 %	△ 22.1 %
	飯田～名古屋	13,651人	4.5 %	34.5 %	193.2 %	△ 28.2 %
	飯田～長野	4,307人	3.9 %	12.1 %	45.2 %	△ 56.6 %
	伊那・駒ヶ根～新宿	16,889人	17.5 %	76.1 %	541.7 %	△ 25.4 %
市内循環バス乗車人数	左回り	2,533人	△ 0.2 %	△ 4.1 %	3.4 %	△ 25.5 %
	右回り	2,620人	△ 1.4 %	9.7 %	10.2 %	△ 28.7 %